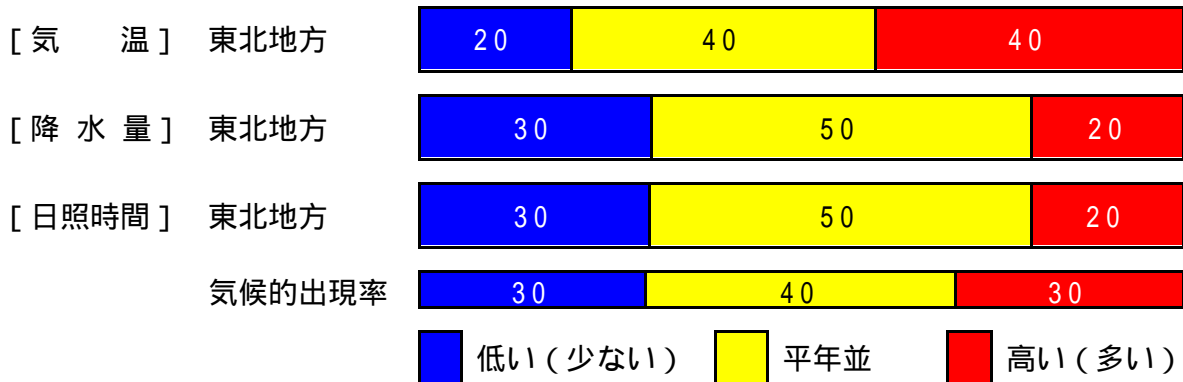


東北地方 1 か月予報の解説 (予報期間: 11 月 11 日 ~ 12 月 10 日)

平成 12 年 11 月 10 日 仙台管区气象台

1. 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)



[気 温]: 東北地方は「平年並」か「高い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40% です。「低い」の可能性は 20% と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率 50% です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30% です。「多い」の可能性は 20% と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30% です。「多い」の可能性は 20% と小さい。

2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう 1 か月

天気は数日の周期で変化し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数は東北日本海側で約 9 日、東北太平洋側で約 19 日です。

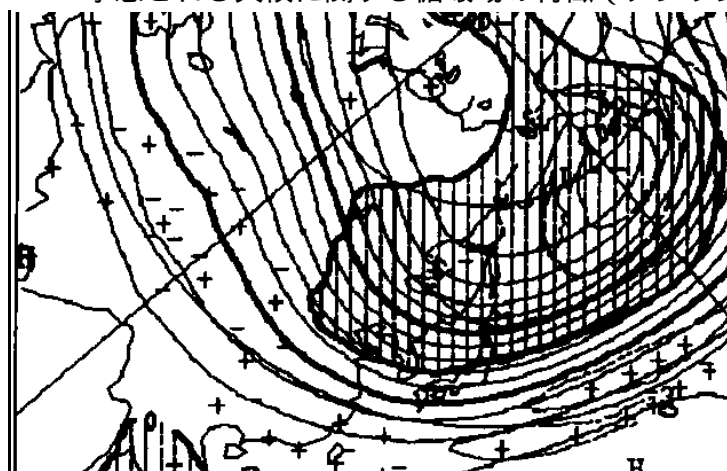
各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 期間の初めと期間の終わりに、気圧の谷の影響で天気がくずれる
(11 月 11 日 ~ 11 月 17 日) でしょう。期間の中頃は高気圧に覆われ概ね晴れる見込みです。
なお、山沿いでは雪の降る所もあるでしょう。
平均気温は高い見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約 2 日、東北太平洋側で約 4 日
です。

2 週目…………… 天気は数日の周期で変化し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配
(11 月 18 日 ~ 11 月 24 日) 置となるでしょう。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約 2 日、東北太平洋側で約 4 日
です。

3 ~ 4 週目…………… 天気は数日の周期で変化し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置と
(11 月 25 日 ~ 12 月 8 日) なるでしょう。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約 4 日、東北太平洋側で約 9 日
です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



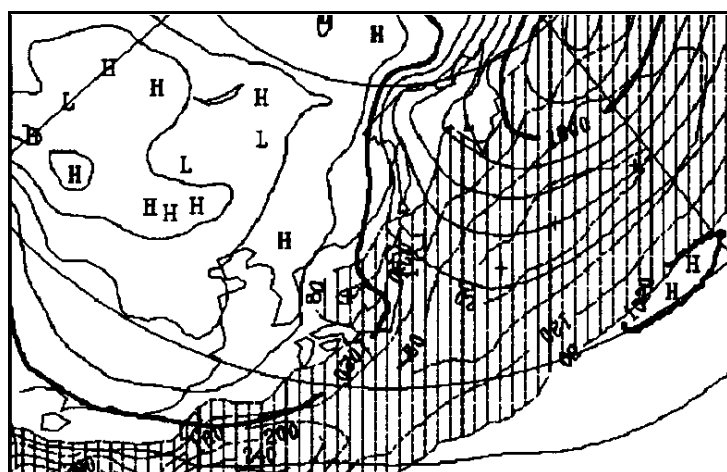
月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極東域は北日本（北海道地方・東北地方）以北は広く負偏差となり、関東以南は日本の南にある太平洋高気圧の勢力が強く正偏差となっている。ただし、近年 500hPa の高度場と地上気温にはバイアスがみられ、高度場が負偏差でも地上気温は低くなりにくい。

上空を流れる偏西風は、東西流が卓越しており、天気は周期的に変化する。

週別（図略）では、2 週目に日本付近負偏差に覆われるが、西谷傾向。



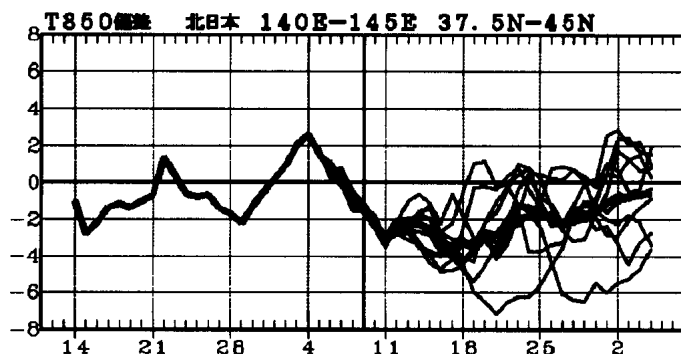
月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・地上気圧と降水量

月平均で見ると、大陸から関東付近にかけ高気圧が張り出し、ベーリング海では低気圧が発達して、日本付近では冬型の気圧配置となっている。

日本の南に前線に沿ってまとまった降水域があるが、日本海にも冬型による降水域が予想される。

週別（図略）では、1 週目日本付近は本州のほぼ全域が大陸からの高気圧に覆われる。2 週目以降、冬型の気圧配置が強まる。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

(縦軸：気温平年差 (°C) 横軸：日付)

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値
域平均気温平年差図参照)

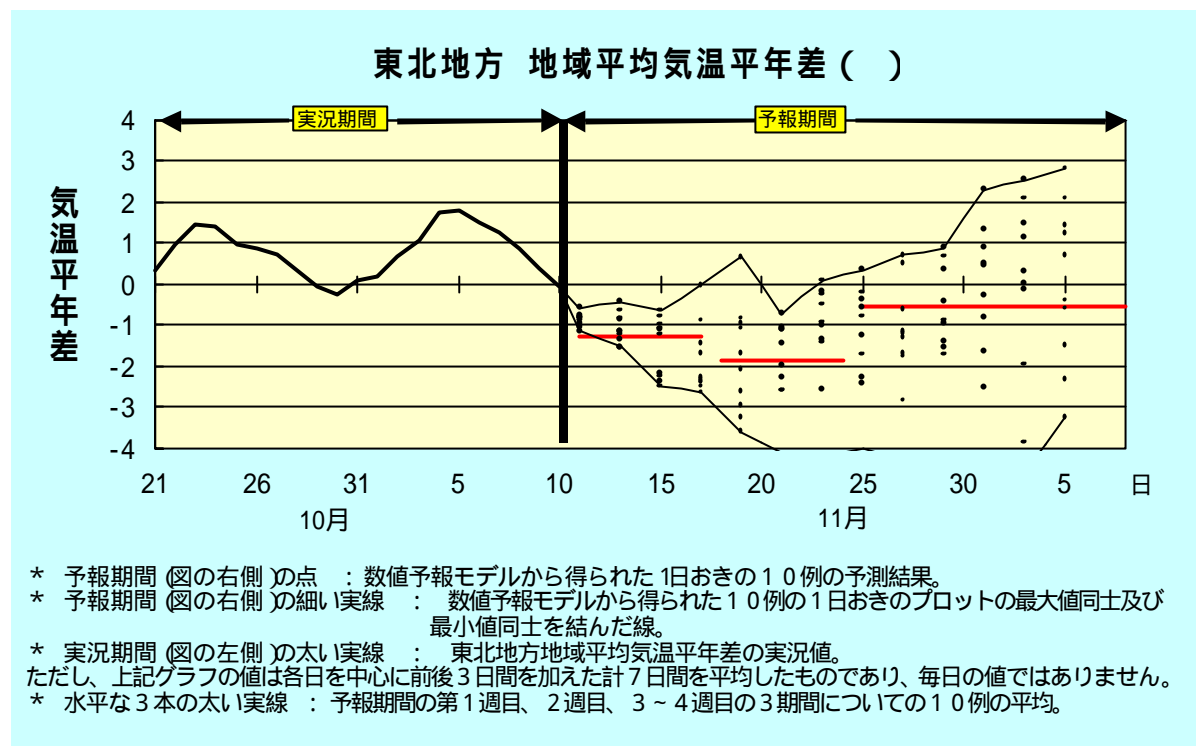
・北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1 週目後半～2 週目にかけて低極となる。その後上昇して平年並に近づくが、期間を通して低目を予想している。ただし、2 週目以降はばらつきが大きく、強い寒気の南下を予想するメンバーもみられる。

なお、最近は 850hPa の気温よりも地上気温が 1～2 程高めになる傾向が続いている。(次ページ東北地方地

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1週目と2週目が「低い」、3～4週目は「平年並」を予想している。しかし、予測結果はこれまで実況に比べて低めに出ており、全体に底上げして考える。1週目は週間予報も考慮し「高い」、2週目以降は「平年並」。ただし、2週目以降はバラツキが大きくなる。



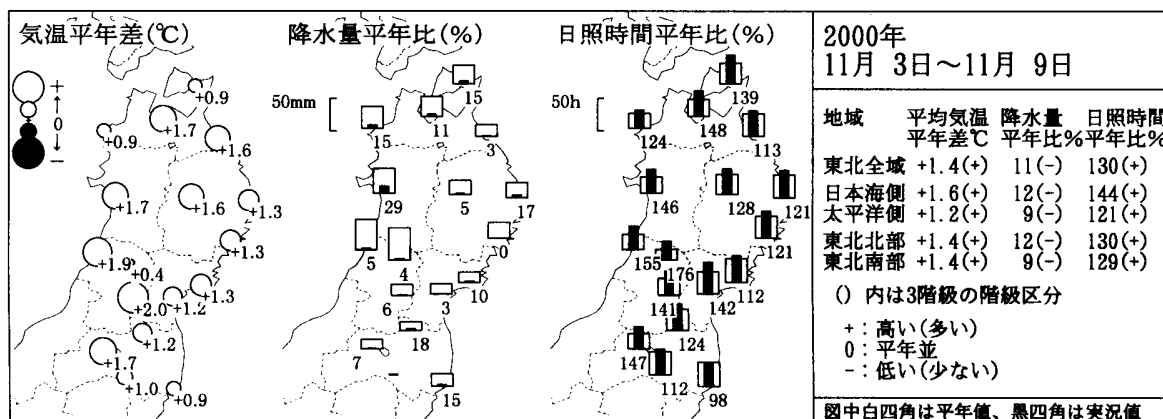
4．最近1週間(11月3日～11月9日)の天候の経過

この期間、天気は周期的に変化したが、大きな天気の崩れはなく、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

5日は寒冷前線が通過した東北北部で曇りとなり、7日は寒冷前線が東北地方を通過して東北日本海側を中心に雨となった。また、8日は冬型の気圧配置となって東北日本海側を中心に曇りとなった。

なお、7日に深浦で、9日に山形、10日に若松でそれぞれ初氷を観測した。

平均気温は、東北地方で平年差+1.4と高かった。降水量は、東北地方で平年比11%と平年より少なかった。日照時間は、東北地方で平年比130%と平年より多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)